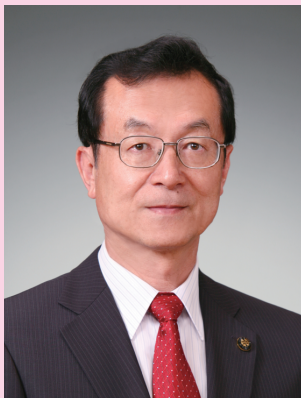


はじめに



わが国の人口は、本年1月に公表された国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口によれば、平成22年の国勢調査による1億2,806万人から、平成42年には1億1,662万人まで減少する一方、高齢者人口は一貫して上昇すると推計され、超高齢社会の一層の進行が予測されております。

本市におきましても、平成29年には高齢化率が25.1%になるものと推計しており、約4人に1人が高齢者となる過去に例のない超高齢社会を迎えることとなります。

また、東日本では、昨年3月に未曾有の大震災にみまわれ、私たちは、防災や減災の対策を強化する必要性とともに、人と地域の絆がいかに重要であることを再認識させられました。

こうした状況の中、すべての高齢者が生きがいをもち、安心して生活ができる地域社会の構築をめざし、第4次計画に引き続き「家族の和、隣人の輪、地域の環 生きがいのあるまち かがい」を基本理念として、第5次春日井市高齢者総合福祉計画を策定しました。

今後は、この計画に基づき、介護、介護予防、住まいなどのサービスが身近な地域で提供される環境の整備に取り組むとともに、高齢者が直面する日常的な生活課題を住民自ら解決できる地域の実現をめざしてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、本計画の策定にあたりまして、貴重なご意見やご提言をいただきました春日井市高齢者総合福祉計画推進協議会委員の皆様を始め、実態調査や意見募集など、さまざまな形でご参加いただきました多くの市民の皆様及び関係各位に対しまして、心から感謝を申し上げます。

平成24年3月

春日井市長 伊藤 太